

永年に亘り地域の民生活動に尽力

四名の元民生児童委員に 永年勤続表彰

平成二十二年十一月三十日をもって退任され、永年に亘り民生児童委員として尽力された四人の方が、永年勤続表彰を受賞されました。授賞式は、五月十七日に開催された奥出雲町民生児童委員協議会総会の席上で行われ、出席者全員で永年の功労を称えました。

- 受賞された皆さん
- 【一】内は勤続年数
厚生労働大臣特別表彰
全国民生児童委員連合会永年勤続表彰
- 杠 富雄さん(郡) 【二十四年】
 - 児玉千恵子さん(稲原) 【二十四年】
 - 渡部 高義さん(大谷) 【二十四年】
 - 藤原 輝美さん(上阿井) 【十五年】
- 全国民生児童委員連合会永年勤続表彰



(写真左から)渡部さん、杠さん、児玉さん、藤原さん

横田クラブ

日本ソフトテニス連盟 功労者表彰受賞

奥出雲町のソフトテニスクラブ、横田クラブ(佐野木貴之部長)が「日本ソフトテニス連盟功労者表彰(優良団体)」を受賞し、授賞式が三月十二日、鳥根県ソフトテニス連盟総会の席上で行われました。

参加し競技力の向上や相互交流を図るなど、大正十一年の創立以来、鳥根県のソフトテニスにおいて重要な役割を果たしている功績が認められたものです。

近年では、新たにジュニアの育成も始めるなど、幼・小・中・高を通じての指導・普及を目指しており、今後の更なる活躍が期待されます。



受賞した横田クラブの皆さん



音楽を通して国際交流

ロシア少女「ヤルマルカ」が来町



音楽交流会の様子

鳥根県の「ロシア沿海地方友好交流」が二十周年を迎え、これを記念して、ロシア・ウラジオストク市立第二番音楽学校の少女コーラスグループ「ヤルマルカ」が来県し、県内各地で交流事業を行いました。(2011北東アジア国際文化パレット事業実行委員会が主催)

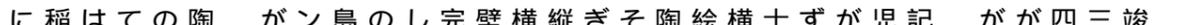
五月三十一日には、十二歳から十六歳のメンバー十人が奥出雲町を訪れ、音楽交流会、和菓子作りなど、様々な文化交流を行いました。

仁多・横田両中学校で行われた音楽交流会では、コーラスグループのメンバーが赤と青を基調とした鮮やかな衣装

をまとって登場、華やかなロシアの音楽に乗せて、高く透き通った歌声と軽快な踊りを披露しました。最後の曲では、メンバーが生徒たちと一緒に踊る場面もありました。

また、生徒たちからは、合唱や太鼓演奏などが披露されました。横田中学校では、書道、剣道や空手などの実演が行われ、間近で見る日本文化と武道の実演に、興味深く見入っていました。

今回の交流会は、グループのメンバーと生徒たちの年齢が近いということもあり、お互いの国の文化に関心を持つ、貴重な交流の機会となりました。



二月に校舎と屋内運動場が竣工した亀高小学校で五月十三日、竣工を記念し全校児童四十二人と亀高幼稚園児十人が製作した陶板壁画の除幕式が行われました。

この陶板壁画は、同校改築記念事業の一環として製作。児童と園児が一人一枚ずつ、縦二十センチ、横三十センチの絵柄入りの陶板を作り、それをつなぎ合わせて縦約二メートル、横約三メートルの壁画として完成させました。陶板の焼成には、島根デザイン専門学校が協力しました。

「奥出雲の自然」と題した陶板壁画は、奥出雲の雪解けた川と春の景色をイメージして作られ、それぞれの陶板には、児童と園児が自ら集めた稲穂や松ボックリなどを粘土に押しつけて田園や野山が表現さ

奥出雲の自然を表現 亀高小学校新校舎に 児童手作りの陶板壁画



陶板壁画を前に、みんなで合唱

式の終わりには、全員で唱歌「春の歌」を合唱し、壁画が未永く地域と児童に愛されることを願いました。

また、この日は玉峰山をイメージした記念碑の除幕も行われました。

地域の安全安心に貢献 仁多こども見守り隊 鳥根県防犯連合会防犯功労者表彰受賞

県内における各種防犯活動で功労があった団体・個人に贈られる鳥根県防犯連合会防犯功労者表彰を、今年度は8団体・個人13名が受賞し、奥出雲町からは「仁多こども見守り隊」(藤原幸治隊長、隊員27名)が受賞しました。

仁多こども見守り隊は、平成18年1月に有志9人により防犯ボランティア団体として結成。同年5月には鳥根県警察本部長から「青色回転灯を装着した自主防犯パトロール団体」としての証明を受け、現在では隊員数27人が青色回転灯装備車30台で、町内のパトロールを実施しています。この他にも街角でのあいさつ運動や横断幕の設置、啓発チラシ「パトロール通信」の配布など精力的に活動されています。



受賞した仁多こども見守り隊 ((写真右から)藤原幸治隊長、野津哲雄副隊長)

藤原隊長は「今後も地域の安全安心に貢献したい」と話し、今後の活動に意欲を見せていました。



願いを込めてアユを放流

「アユさん、おおきくなあれ」 子どもたちは、「アユさん、おおきくなあれ」とアユの成長を願いながら、元気に泳いでいくアユの姿を見つめていました。

子どもたちは今後、斐伊川の水質検査や宍道湖の清掃などを行い、自然環境について学びます。

五月二十三日には、役場横田庁舎裏の斐伊川河川敷で横田幼稚園と横田小学校三年生約三十人が参加し、体長十センチの稚アユ約二千匹を放流しました。

魚が住めるきれいな川を守るべく、横田公民館と斐伊川漁協横田支部では、昭和六十三年から毎年水辺の教室を開いています。